

【幼保小連携通信】

保育課・学校教育課
幼保小連携担当

夢に向かって挑戦する子ども

令和6年度

6月18日 No.7

たくさんのご参加
ありがとうございました!



幼保小連携研修を行いました☆

6月7日(金)に、幼・保・小・義務教育学校合同による幼保小連携研修(オンライン)を行いました。東海大学 寶來 生志子 准教授から、「幼保小の協働による架け橋期の教育の充実」をテーマにご講義いただき、その後、連携園・校で、連携について協議しました。



みんなで伴走し、育てよう!
相模原の子どもたち



寶來准教授から、スタートカリキュラムの役割やデザイン方法、保育者・教育者としての在り方など、実際の子どもや先生の姿を交えながらお話しいただきました。明日からすぐに活かすことができそうな、園・校をつなぐヒントがたくさん詰まっていました。

価値ある体験から手応え感覚(ポジティブ感情)が生まれること、それが学びに向かう力となること、学校が子どもの生活の流れに合わせることで、「学び方を学ぶ時期」を逃さず、柔軟に対応すること等、子どもたちがやりたいことをやることができる環境が大切であるとのことでした。

そのためには、年長や1学年担任、幼保小連携担当者だけでなく、子どもたちに関わるすべての職員の理解が必要となります。ぜひ、園内・校内で、講義や行政説明の内容・資料を共有し、今後の幼保小連携の取組に活かしていただけたらと思います。

会場校の先生方、ご準備ありがとうございました。

講義後、テーマを「主体的な遊び・学び」と設定し、協議をしました。具体的な子どもの姿や行動、そのきっかけとなったであろう先生の関わり・環境構成・環境づくり、これから園・校で大切にしていきたいことを語り、カリキュラム作成シートにまとめました。

子どもの姿で語り合って完成したこのシートが、子どもの実態に応じた地区ごとのカリキュラムの“もと”となります。明日からの園・校の保育・教育に取り入れることはもちろん、これをきっかけとし、続きを話し合ったり、交流について考えたりし、ぜひ、連携をさらに一歩進めていきましょう。

どんなことをしたらいいの? どんなことをしているの?

次号より、市内で行われている幼保小連携について、ご紹介していきます。取組の参考にしてみてください。

連携園・校の“こんなことをしているよ!” “こんなはどう?”を、ぜひ教えていただけたらと思います。保育課・学校教育課幼保小連携担当までご連絡ください。